

道内の感染状況等について (案)

【令和3年4月23日】

主な指標の状況

	医療提供体制等の負荷			監視体制	感染状況		
	病床全体	うち重症者用病床	療養者数	検査陽性率	新規感染者数	先週1週間との比較	感染経路不明割合
全道 (4/22)	552床 ↑	25床 ↑	1127人 ↑	3.6% ↑	766人/週 (14.4人) ↑	1.36 ↑	40.7% ↑
うち札幌市内	314床 ↑	19床 →	899人 ↑	5.3% ↑	613人/週 (31.3人) ↑	1.47 ↑	41.1% ↑
ステージ4基準	350床	35床	796人	10%	796人/週 (15.0人)	増加	50%
ステージ3基準	250床	25床	増加	増加	133人/週 (2.5人)	増加	50%

※()は10万人あたりの新規感染者数

※各指標の動向(矢印)は、1週間前との比較

国の分科会提言で示された新たな指標

	医療提供体制等の負荷			②療養者数	③PCR陽性率	感染の状況	
	①医療の逼迫具合					④新規陽性者数	⑤感染経路不明割合
	入院医療		重症者用病床				
全道 (4/22)	確保病床の使用率 30.2%	入院率 49.0%	確保病床の使用率 15.4%	21.2人	3.6%	14.4人	40.7%
うち 札幌市内	71.4%	34.9%	38.0%	46.0人	5.3%	31.3人	41.1%
ステージⅢ の指標	確保病床の使用率 20%以上	入院率 40%以下	確保病床の使用率 20%以上	20人 /10万人以上	5%以上	15人 /10万人/週以上	50% 以上
ステージⅣ の指標	確保病床の使用率 50%以上	入院率 25%以下	確保病床の使用率 50%以上	30人 /10万人以上	10%以上	25人 /10万人/週以上	50% 以上

最近の感染状況等について①

【全国的な感染の再拡大】

全国的に感染が急速に拡大しており、4月1日に宮城県、大阪府、兵庫県、4月9日に東京都、京都府、沖縄県、さらに4月16日には埼玉県、千葉県、神奈川県、愛知県を加え、10都府県が「まん延防止等重点措置」を実施すべき区域とされた。また、大都市圏以外の地域でも感染者数の急速な増加が見られている。4月23日、東京都、大阪府、京都府、兵庫県においては、再び緊急事態宣言が発令される見込みとなっている。

【感染状況】

道内の新規感染者数は、4月22日現在、10万人当たり14.4人/週となっており、特に4月20日からは、1日当たりの確認数が100人を超えている。

札幌市においては、全道の感染者数の8割を占め、4月19日には10万人当たり25.2人/週と道の警戒ステージ5(国のステージⅣ)の目安を上回った。4月8日から15日間連続で前週よりも増加し、この期間の後半の4月15日から22日までの7日間で感染者数(7日間合計)が約200人増加するなど、増加速度が速まっている。また、感染しやすいとされる変異株への置き換わりが進んでおり、変異株検査数の約7割が変異株となっている。

感染者の行動履歴では、個人活動や会社、医療・福祉施設など様々な場面での感染が確認されるとともに、感染経路不明割合及び実数も増加しており、市中での感染の広がりが見られる。さらに、基幹受入病院における大規模な集団感染も発生している。

最近の感染状況等について②

【医療提供体制】

札幌市内においては、感染者数の増加に伴い、入院患者数や重症患者数の急激な増加傾向が続いている。また、基幹受入病院における大規模な集団感染等により、通常医療にも影響が生じるとともに、広域搬送も必要となるなど、医療提供体制は一層厳しい状況となっている。

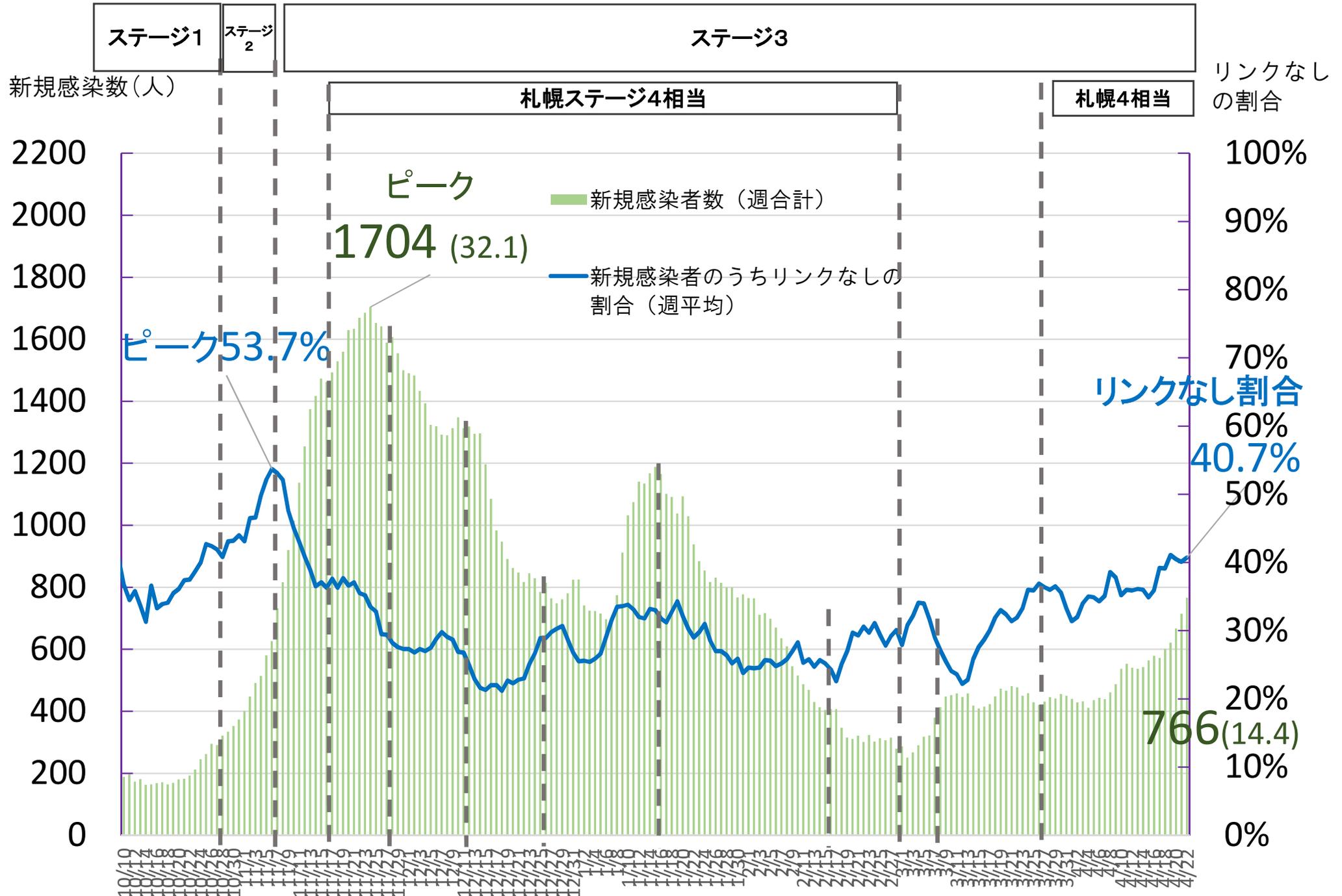
【今後の対応】

札幌市内において、市中での感染が広がっている状況であり、人の往来が活発な都市構造の札幌市内の感染拡大がこのまま続くと、全道の感染状況にも大きな影響を及ぼすとともに、札幌市に集中している変異株が全道にも広がるおそれがある。

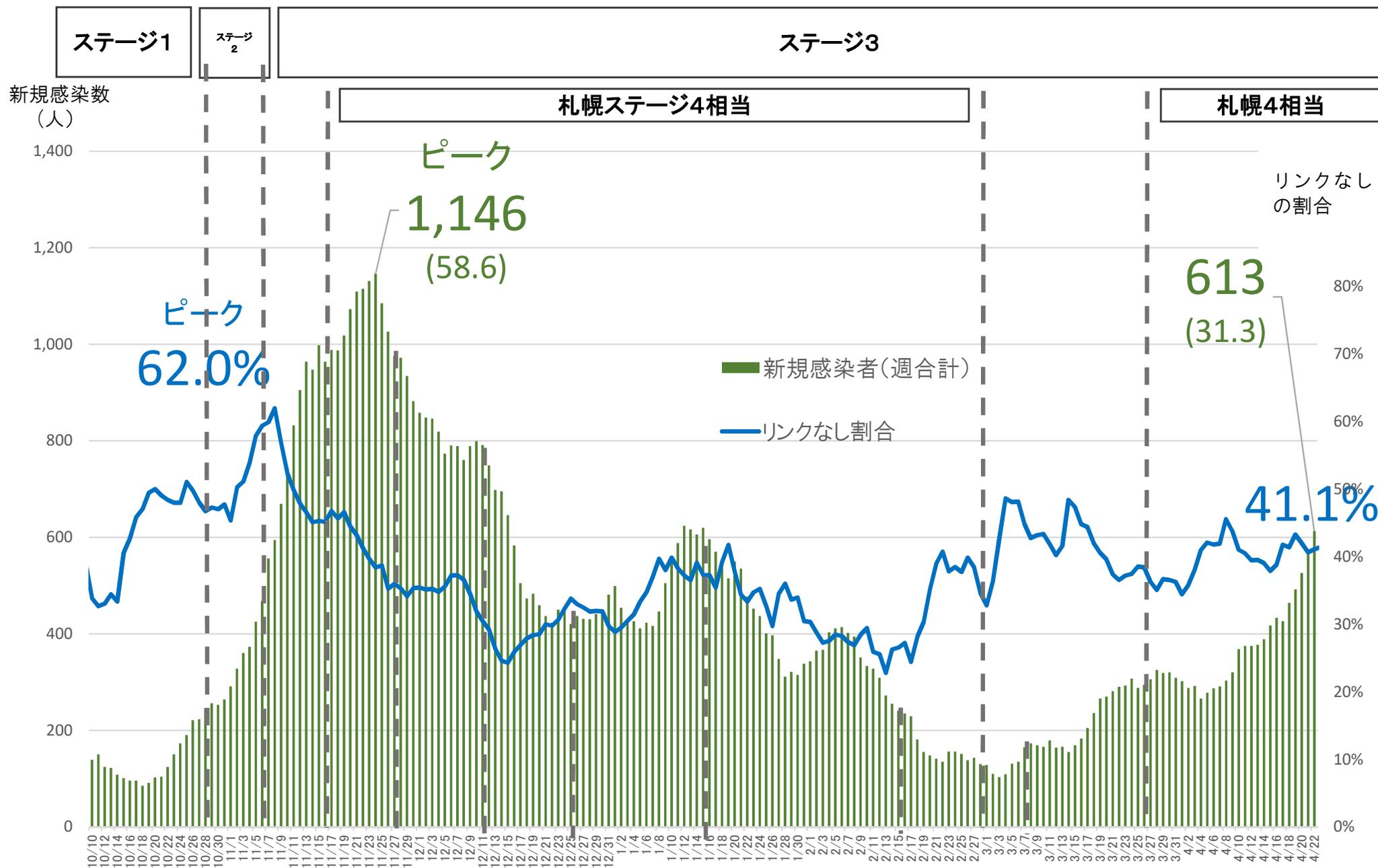
爆発的な感染を防ぎ、医療機能が集積している札幌市内の医療提供体制の負荷を低減させるためにも、人の移動や会食機会が一層活発化するゴールデンウィークを中心に、人々との接触機会を低減させるより強い措置を講じることが必要。

また、札幌市以外の地域においても、引き続き、感染防止行動を徹底することが必要。

感染状況

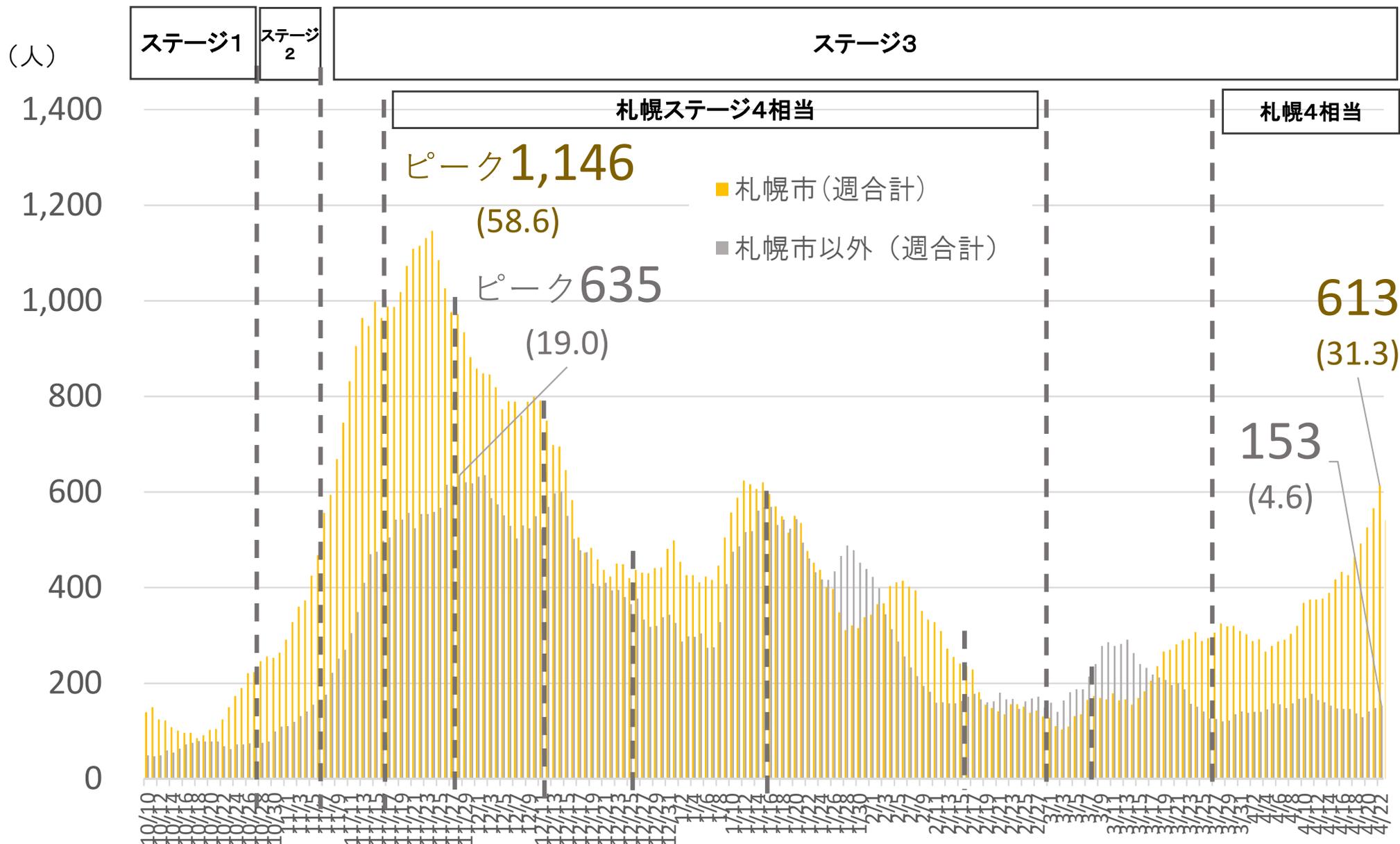


札幌市の感染状況



()は10万人当たり人数

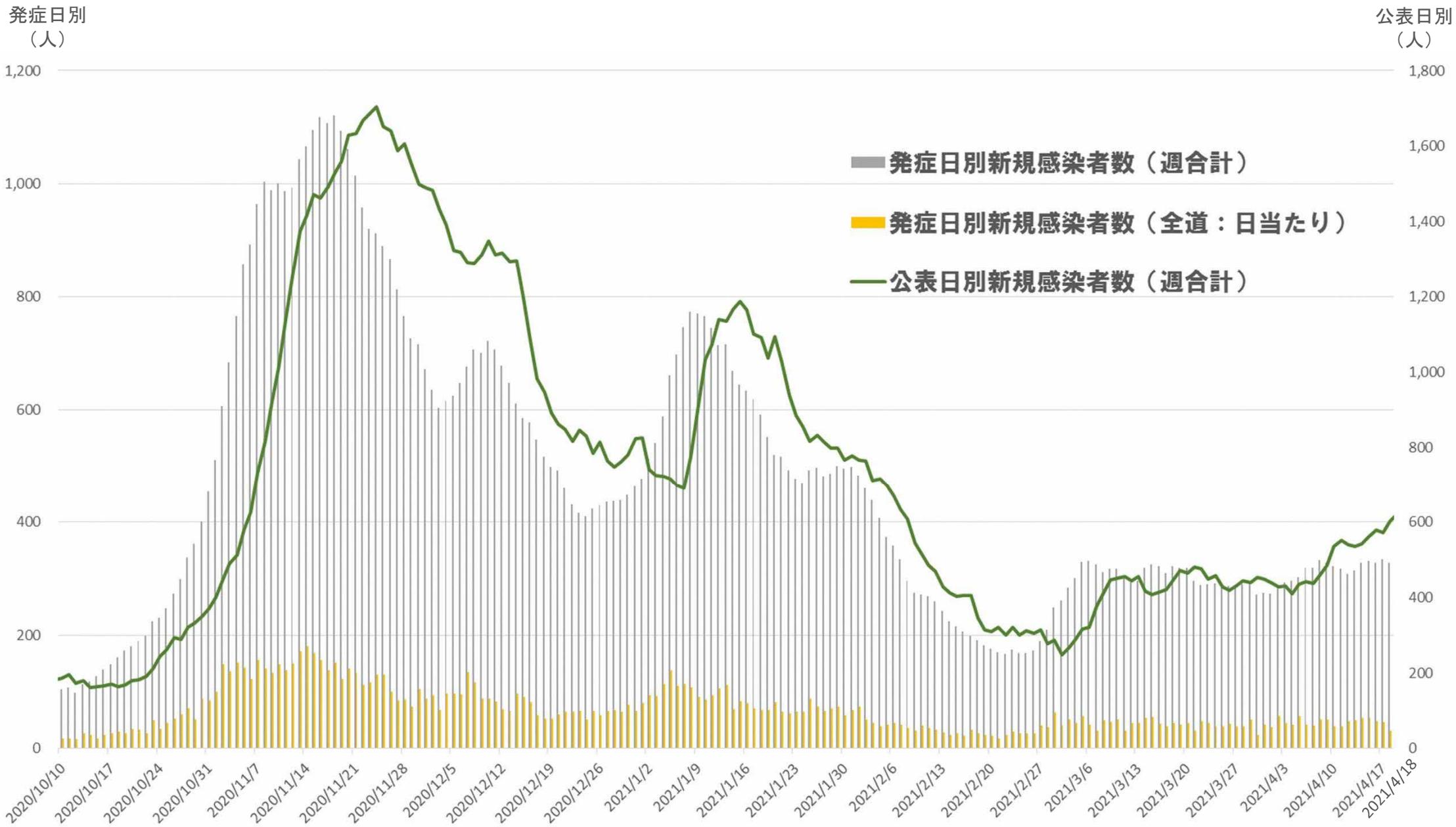
新規感染者数(札幌市／札幌市以外)



()は10万人当たり人数

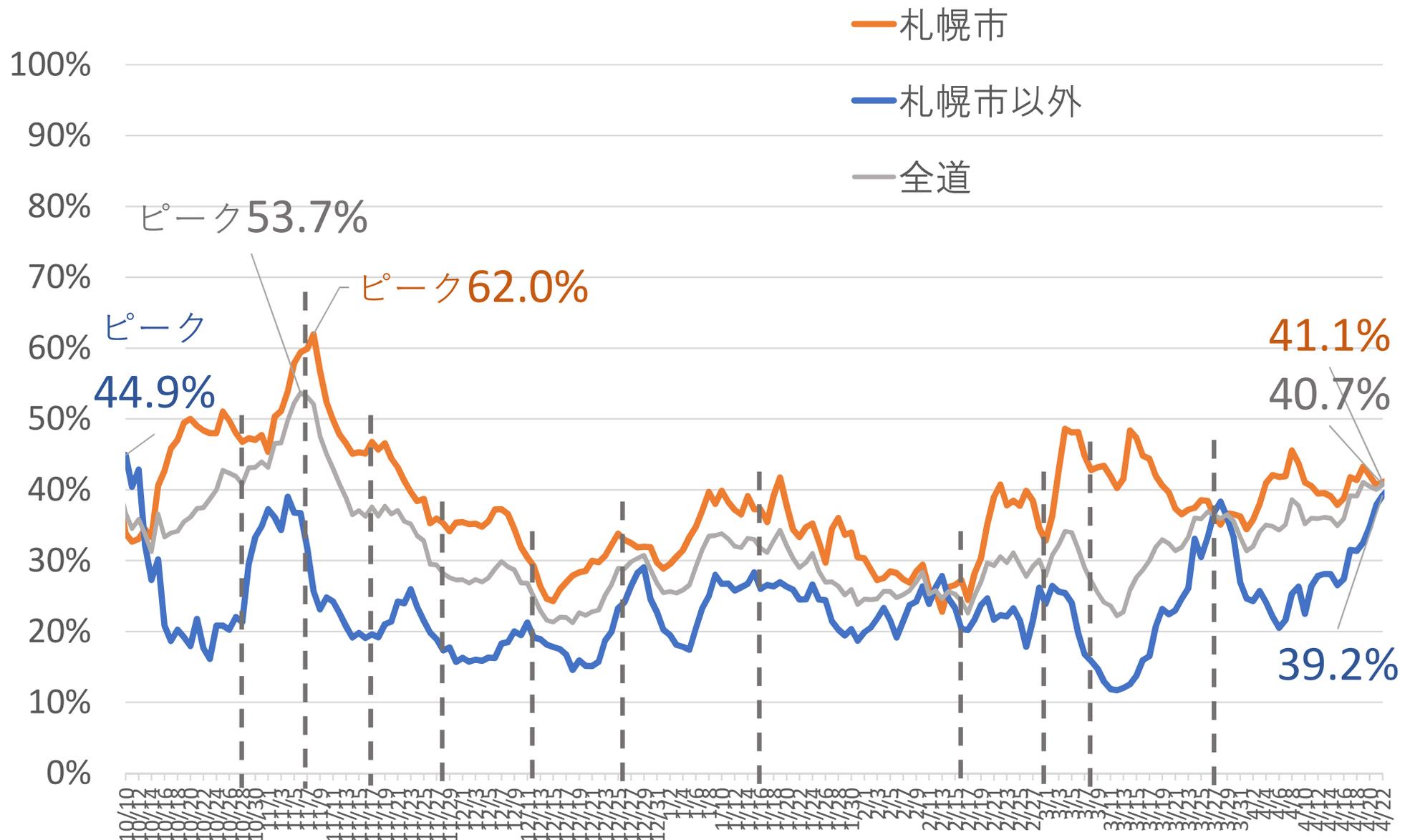
(7日間合計で集計。「札幌市」には、札幌市が居住地非公表として発表した者及び札幌市以外が札幌市居住として発表した者を含む。)

発症日別～公表日別の新規感染者数(全道)



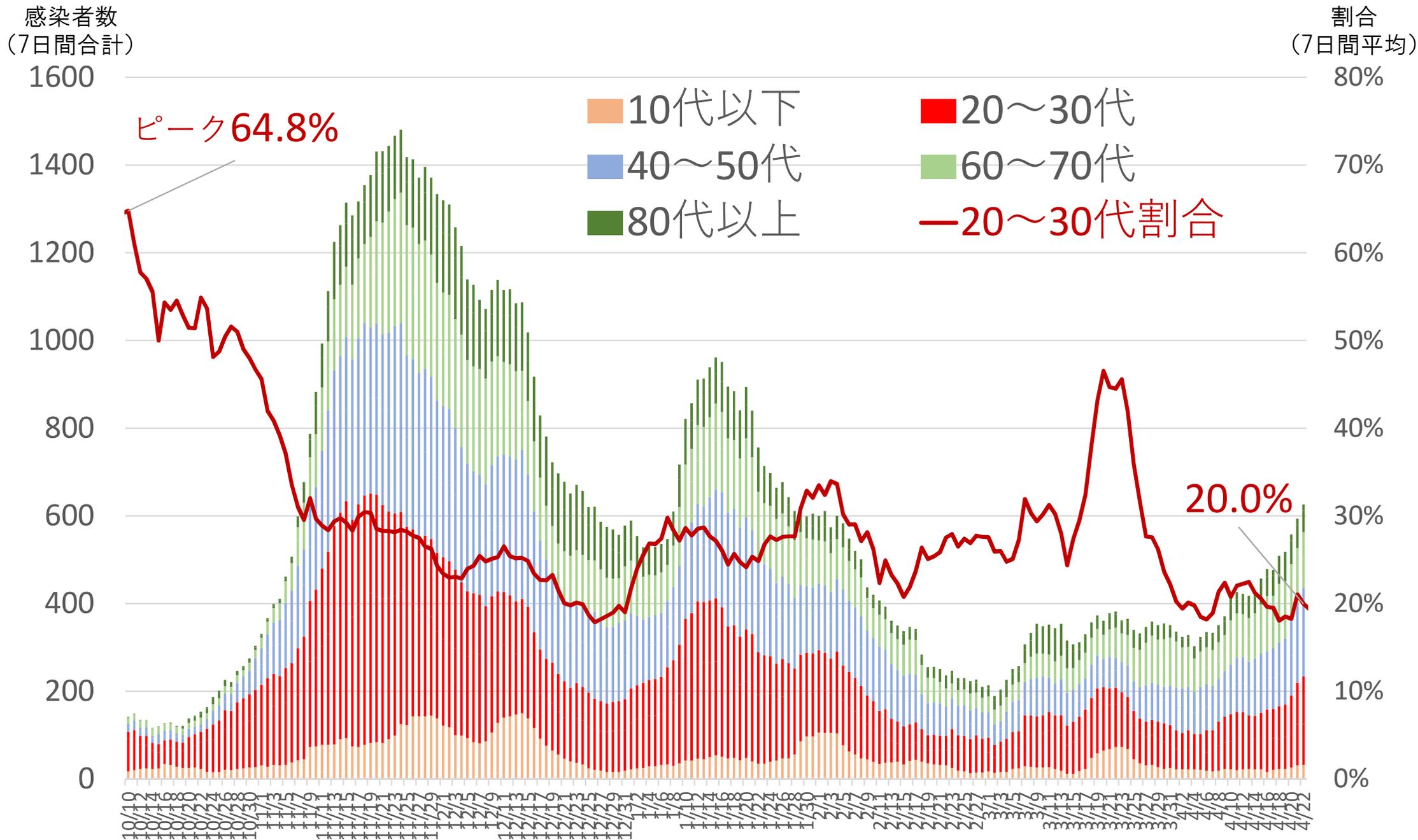
※発症日別新規感染者数については、調査に時間を要するため、数日前のデータとなる。
※無症状者及び発症日不明者があるため、発症日別と公表日別の公表人数が異なる。

地域別リンクなし割合(札幌市／札幌市以外)



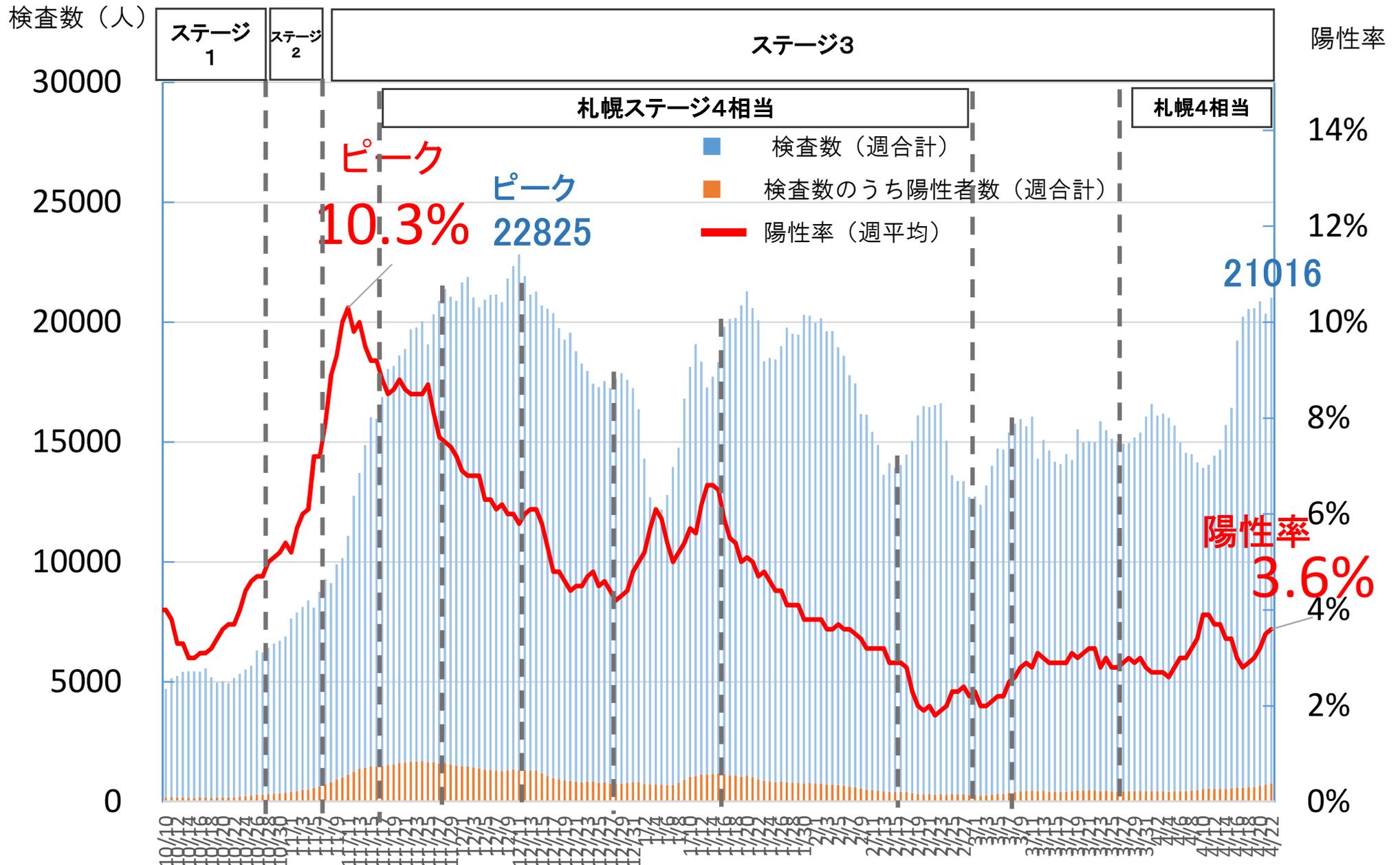
(7日間移動平均)

年代別感染者数と20代～30代の割合

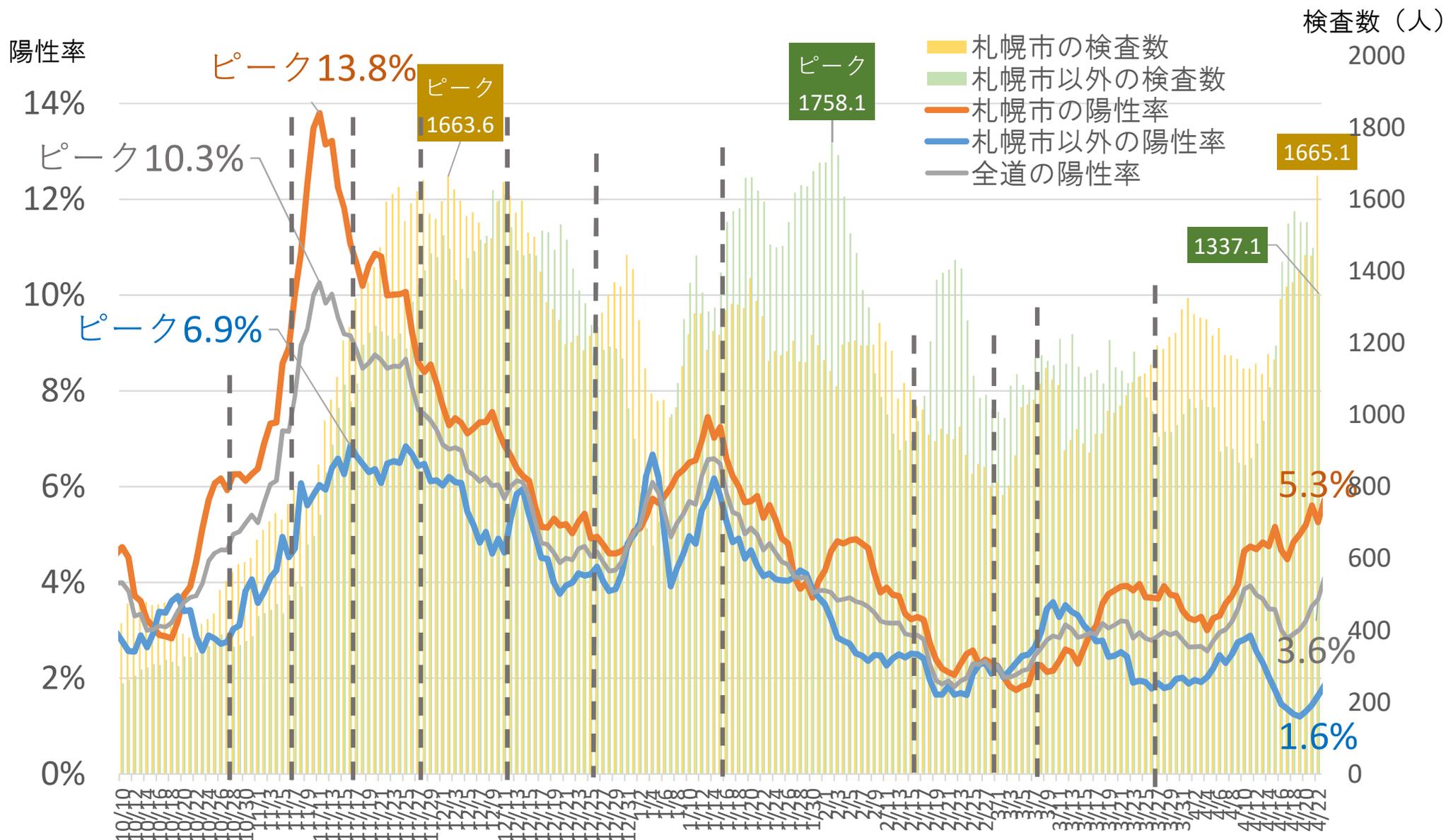


(新規感染者のうち年齢公表分を集計)

監視体制(陽性率と検査数)

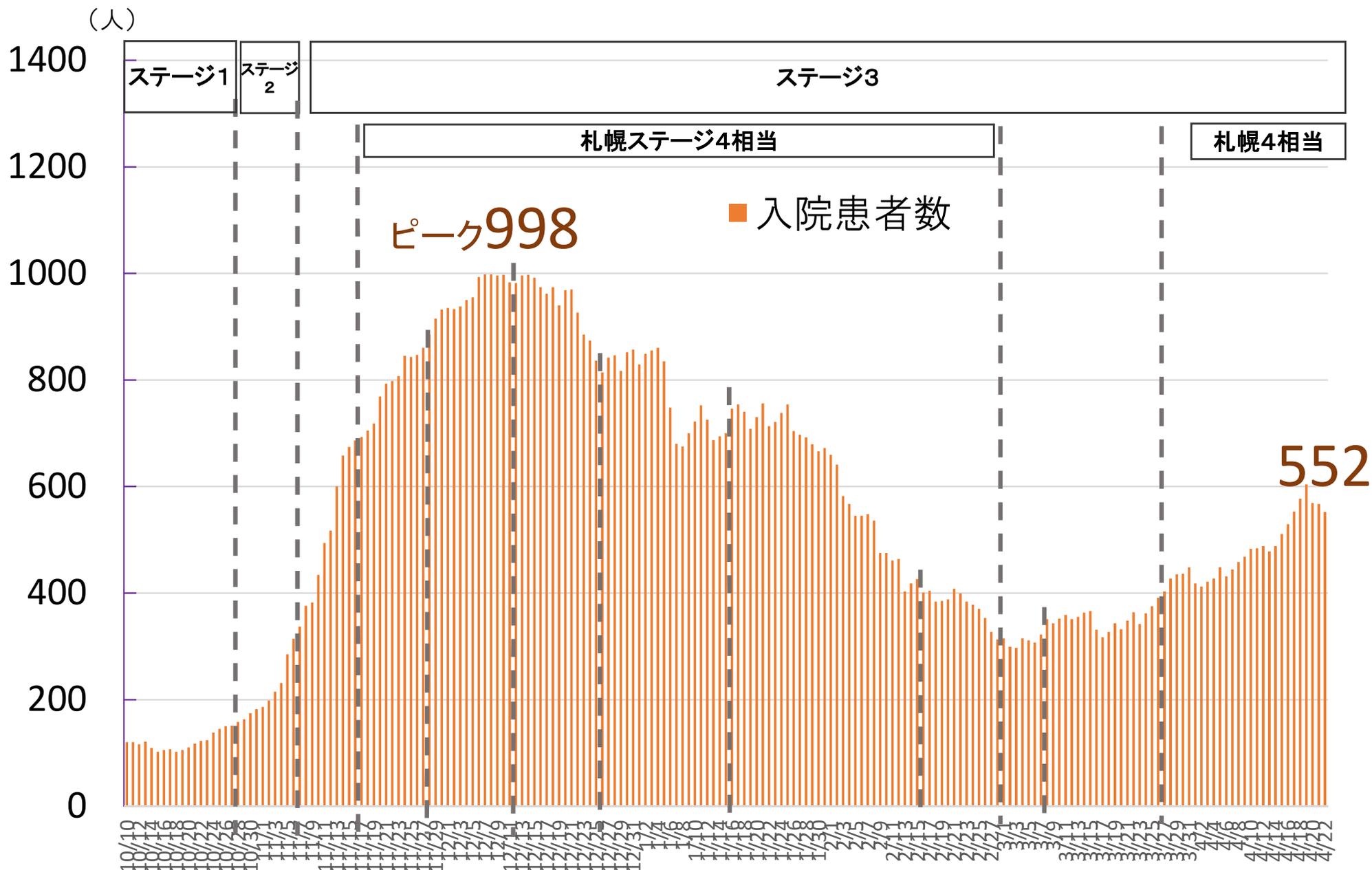


地域別検査数・陽性率(札幌市／札幌市以外)



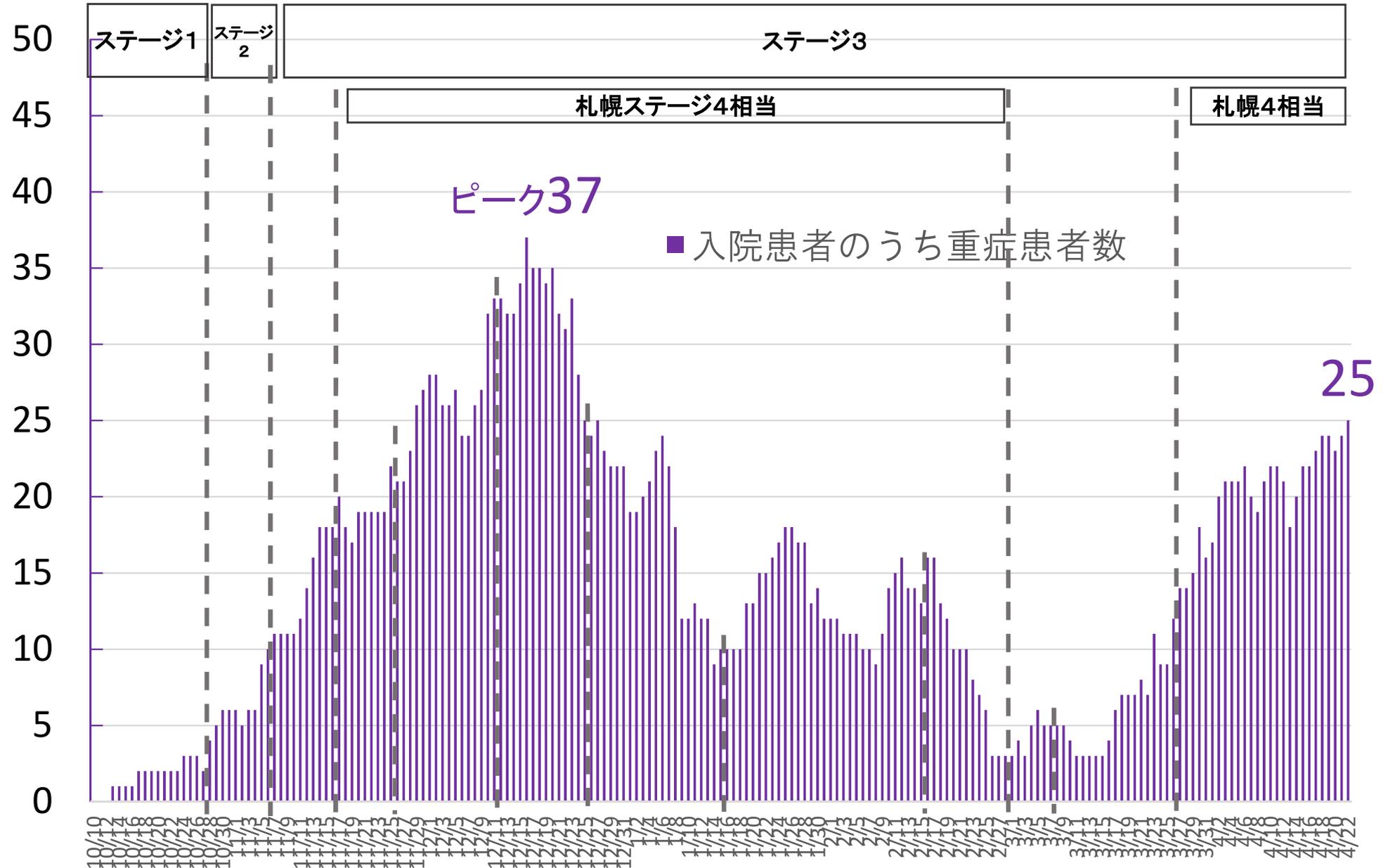
(7日間移動平均)

医療提供体制等の負荷(病床全体)



医療提供体制等の負荷(重症者用病床)

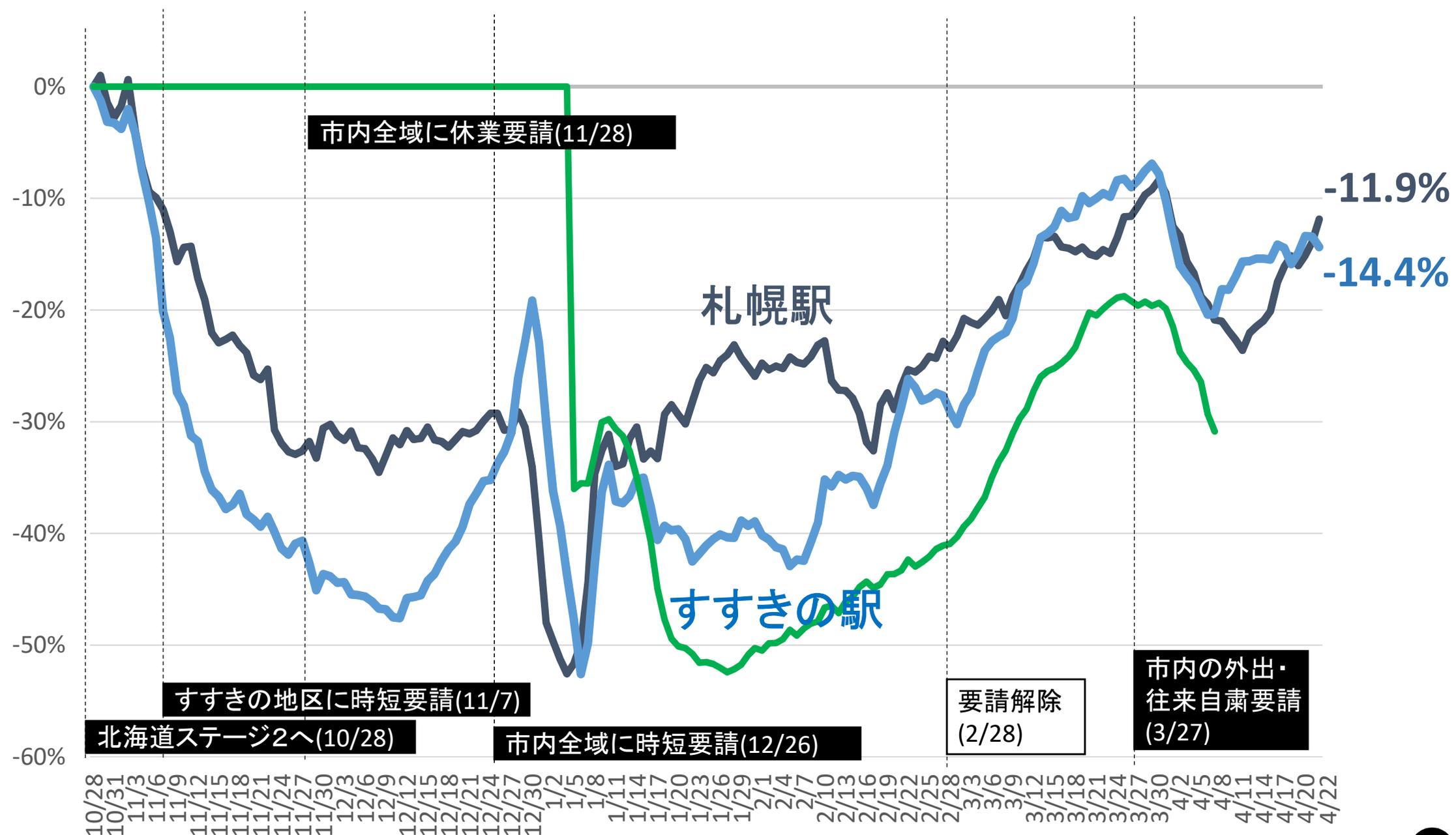
(床)



札幌市内主要地域の人出(対10月28日比)

22時

※22時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比

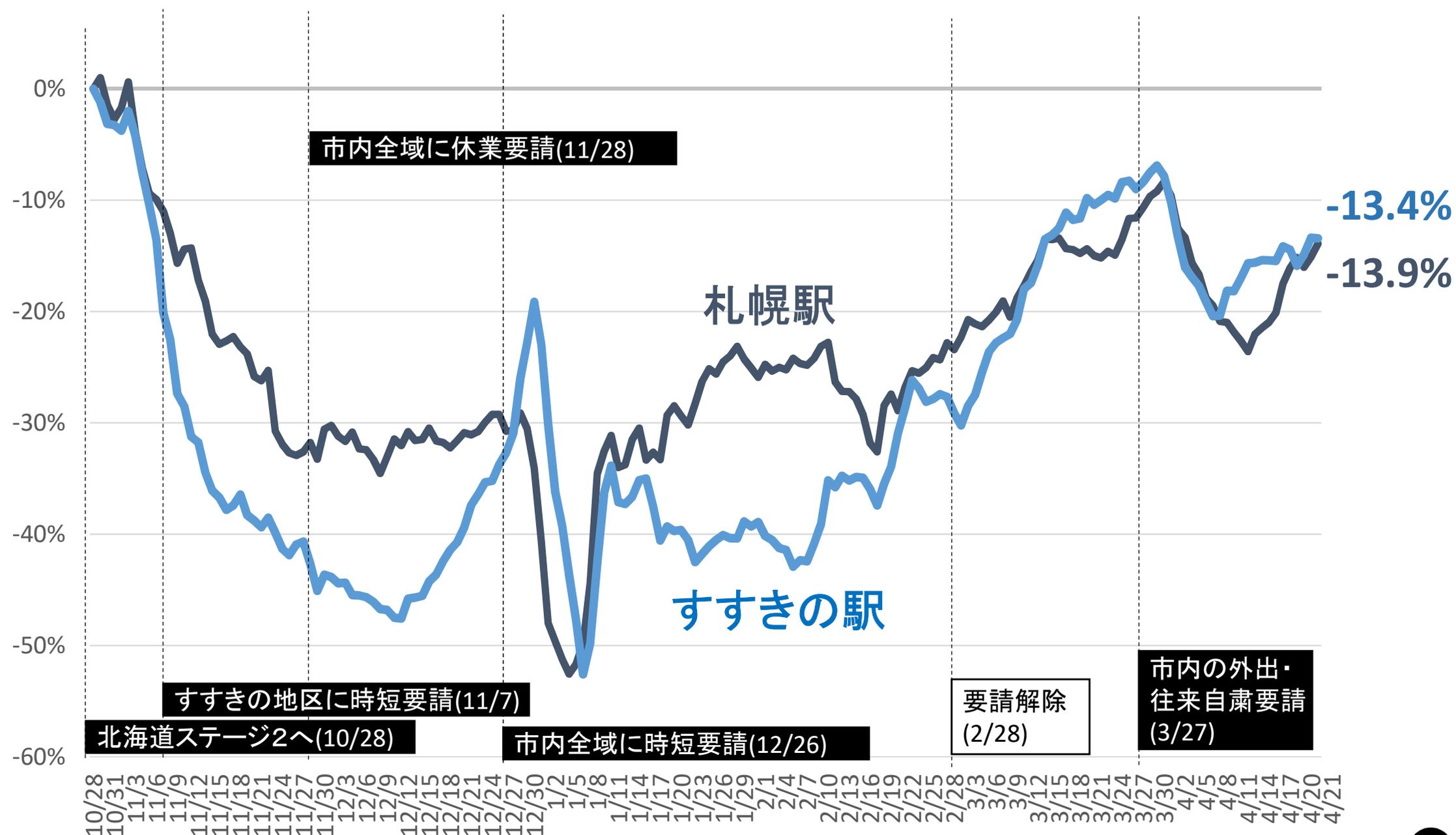


※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

札幌市内主要地域の人出(対10月28日比)

22時

※22時時点の後方7日間移動平均、令和2年10月28日比



※(株)Agoop提供データを基に北海道作成

集団感染の発生状況

	12月	1月	2月	3月	4月 (4/1~22)
医療施設 福祉施設	45件 (1572人)	26件 (679人)	15件 (294人)	14件 (294人)	13件 (289人)
事業所等	7件 (143人)	10件 (109人)	10件 (103人)	9件 (110人)	5件 (47人)
飲食店等	7件 (56人)	15件 (174人)	5件 (43人)	8件 (96人)	11件 (71人)
学校	10件 (202人)	7件 (196人)	3件 (33人)	5件 (84人)	3件 (42人)
合 計	69件 (1973人)	58件 (1158人)	33件 (473人)	36件 (584人)	32件 (449人)

※「飲食店等」には、接待をともなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

集団感染の発生状況(札幌市／札幌以外)

	4/2～8		4/9～15		4/16～22	
	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外	札幌市	札幌以外
医療施設 福祉施設	4件 (55人)	1件 (5人)	3件 (123人)	—	3件 (87人)	1件 (11人)
事業所等	1件 (5人)	1件 (15人)	2件 (21人)	—	—	1件 (6人)
飲食店等	—	5件 (31人)	—	3件 (21人)	1件 (5人)	2件 (14人)
学校	—	—	—	—	3件 (42人)	—
合 計	5件 (60人)	7件 (51人)	5件 (144人)	3件 (21人)	7件 (134人)	4件 (31人)

※「飲食店等」には、接待をとまなうもの及び飲食を伴う行事(集会・イベント等)を含み、その他の行事については、「事業所等」に含めている。

変異株の状況

	新規 感染者数	変異株 PCR 検査数	変異株 PCR検査 実施率	変異株 疑い 事例	変異株 PCR検査 陽性率
①4/2～8	461	356	77%	126	35%
②4/9～15	564	379	67%	229	60%
③4/16～22	766	542	71%	361	67%

初確認(3/6)からの累計

1055

うち札幌市

875

(全道の83%)

※変異株については、新規陽性確認後に別途、変異株のスクリーニング検査を行うことから、各期間(①～③)における新規感染者数の内数とならない。

変異株の状況

	新規 感染者数	変異株 PCR 検査数	変異株 PCR検査 実施率	変異株 疑い 事例	変異株 PCR検査 陽性率
①4/1~7	439	342	78%	129	38%
②4/8~14	542	391	72%	223	57%
③4/15~21	714	485	68%	303	62%

初確認(3/6)からの累計 **964**
 うち札幌市 **800**
 (全道の83%)

※変異株については、新規陽性確認後に別途、変異株のスクリーニング検査を行うことから、各期間(①~③)における新規感染者数の内数とならない。